

農業

令和7年2月号
会誌 No. 1727



目次

巻頭言

コメの価格.....佐々木昭博 3

論壇

日本農業法人協会における女性の活動.....納口るり子 4

◆農事功績者表彰

大日本農会北米加州支会
第108回大日本農会農事功績者表彰伝達式..... 6

◆農事功績者座談会

レモンに夢を託して.....中田純一・康子 7
現地指導者のコメント.....竹盛 稔 17
意見交換..... 18

◆表彰農家訪問

大規模なクリ専作経営により焼き栗・生栗を全国販売、
「笠間の栗」知名度向上に貢献.....長谷川美典 23
—茨城県笠間市に小澤一男さんを訪ねて—

◆食を楽しむ

どこでも食育.....秋山 由季 31

◆研究の最前線

農業新規参入プロセスにみる就農支援の課題.....岡本 夏佳 32
—新規就農は人とのつながりが鍵となる—

◆農業・農村の現場から

茨城県石岡市八郷地区における有機農業を核とした
新規就農者育成の取り組み.....柴山 進 42
—地域総合産直と有機農業—

世界の農業は今

フランスにおける地域振興と担い手支援を促す

農村アニメーターの取り組み……………須田 文明 48

私の経営と志

熊本県八代市で晩白柚栽培

—地域資源とデジタル技術を活用して地域を豊かに—……………桑原 健太 54

農家の気持ち

父との「大げんか」のち「尊敬」の理由……………矢萩 美智 56

農業関係予算情報

「改正食料・農業・農村基本法」を踏まえた

農業の構造転換の実現に向けた予算……………大日本農会企画部 57

農政情報

…………… 61

大日本農会だより…………… 62

編集部から…………… 62

表紙写真説明：シリーズ日本農業遺産

愛媛・南予の柑橘農業システム（南予地域）

南予地域は、愛媛県のカンキツ生産量の7割を支える主要産地で、温暖な気候に加え、「太陽からの直射日光」「海面からの照り返し」「石積みからの反射光」という「三つの太陽」に恵まれ、カンキツの栽培に適した環境が整っています。また、太古から黒潮の恩恵を受ける豊かな漁場である宇和海では、漁業も盛んで、魚かすを肥料に活用したり、ミカンの残さを飼料とした「みかんフィッシュ」の養殖が行われたりするなど、農業と漁業が循環する持続可能な仕組みが築かれています。

季節の移り変わりとともに、鮮やかな緑からだいたいや黄色へと色を変える果実と穏やかな瀬戸内海との美しいコントラストが織りなすランドスケープ（景観）は、南予ならではのものです。

（愛媛県南予地域農業遺産推進協議会 会長 大城一郎）